



# がんばろう福島

～ Voices from Fukushima ～



当協会HP をご覧ください。

東日本大震災と東京電力福島第一原発事故から3年7ヶ月が経ちました。福島県は避難指示解除準備区域が徐々に解除され、東北中央自動車道の「相馬福島道路」が着工されるなど、復興に向けた取り組みが着実に進んでいますが、一方で課題もまだまだ多く残っています。

(公財) 福島県国際交流協会では、震災直後より当協会広報紙「Gyro (ジャイロ)」の震災復興版として「がんばろう福島」を発行しており、福島県の現状や県内の国際交流・協力団体の活動、外国出身県民の声などを紹介しています。

※本紙の翻訳版は、当協会 HP からダウンロードできます。

## 福島の風景

### 後世への継承を誓う「ふるさとの祭り」(福島市)

10月4日(土)と5日(日)に、福島県主催による「ふるさとの祭り2014」が福島市の四季の里で開催されました。県民の絆の再生と「こころの復興」を目指し、東日本大震災と東京電力第一原発事故後、継承が難しくなっている福島県内各地の民族芸能を次代へ受け継ぐ催しで、浜通りの団体など20団体が出演しました。

10月5日(日)午前の部では、飯館村の「比叺の三匹獅子舞」や南相馬市の子どもたちによる「烏崎子供手踊り」や「下町子供手踊り」などがステージで披露され、会場から大きな拍手が送られていました。



南相馬市鹿島区の子どもたちによる「烏崎子供手踊り」

### 世界のつながりを身近に体験(会津若松市)

10月4日(土)、会津若松市国際交流協会主催の「国際交流フェスティバル2014」が会津若松市鶴ヶ城体育館で開催されました。市民と外国人が交流し、相互の文化理解を深めるイベントで、会津地域の在住外国人をはじめ、国際交流・協力団体が参加し、各ブースで出身国の紹介や団体の活動紹介などが行われました。当協会は、今年度の県費留学生2名(ブラジル出身)に協力してもらい、ポルトガル語の言葉のクイズ出題やブラジルについての紹介を行いました。

会場は、復興支援や会津地方の観光案内のブース出展、世界のステージパフォーマンスなどもあり、多くの来場者が楽しんでいました。



来場者のお子さんと話す県費留学生のレイス・渡辺・ルカさん

### やさしい日本語で「防災」を伝える(福島市)

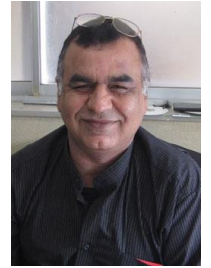
EIWAN(福島移住女性支援ネットワーク)主催による「防災と多文化共生」をテーマにしたワークショップが、9月28日(日)、福島市のコラッセふくしまで開催され、外国人支援や防災に関心のある方や日本語ボランティアの方などが参加しました。講師の花岡正義さん(「やさしい日本語」有志の会代表)から、阪神大震災と東日本大震災での教訓をもとに、災害時や緊急時に、外国人にいかに早く大切な事柄を正確に伝えるかのお話がありました。



ワークショップの様子

**バズ モハマドさん（福島市在住 パキスタン出身）**

福島に住んで約12年になります。中古車の輸出業に携わっており、近年はカーオーディオやナビゲーションなどの販売もしています。仕事が忙しく、心身休まることがなかなかありませんが、現在、家族みんなで平穩に暮らせていることを何より幸せに感じています。これまでずっと「生きていけば困難なことはたくさんある」という考えで暮らしてきましたが、実際は周りの方たちが親身になってサポートしてくれたおかげで今の自分があり、とても感謝しています。



**エマ ウィルソンさん（川俣町在住 イギリス出身）**



2010年9月から広島市の大学に1年間留学し、春休み期間で東京に遊びに行っていた時に東日本大震災に遭いました。地震自体を体験したことがなかったので、その時の衝撃は一生忘れることはないと思います。今年の8月から、川俣町のALT(外国語指導助手)として、川俣町の小・中学校で英語を教えています。大学で言語学を専攻していましたが、ALTの仕事を通して英語とは違う日本語の面白さを知り、将来は日本語を使う仕事ができたらいいなと思っています。

**ウィリアム パトリック ティムズさん（矢祭町在住 イギリス出身）**

2013年春に来日し、現在矢祭町に住んでいます。日本の文化や生活習慣、福島県のことなどを知った上で日本に来ましたが、実際に生活してみて新たに知ったこともたくさんあり、その度に新鮮な感覚を覚えます。友人のFacebookを通じて福島県国際交流協会の「ワン・ワールドプロジェクト」を知り、メンバーに加わりました。仲間たちとコミュニケーションがよくとれており、いろいろな考えや意見が出ていて面白いプロジェクトです。現在、福島の魅力を紹介する映像の制作をしており、完成が今から楽しみです。



福島県内各地の環境放射能測定値（暫定値）（福島県 HP から抜粋）

福島県ホームページでは、県内各地の環境放射能測定値（暫定値）を日本語、英語、中国語で、福島県国際交流協会ホームページでは、それらに加え、タガログ語、ポルトガル語、韓国語で随時更新しています。 <http://www.worldvillage.org/>

単位：マイクロシーベルト/時間

日時	福島市	郡山市	白河市	会津若松市	南会津町	南相馬市	いわき市
(平常値)	0.04	0.04-0.06	0.04-0.05	0.04-0.05	0.02-0.04	0.05	0.05-0.06
2014.10.25 9:00	0.24	0.14	0.10	0.07	0.05	0.12	0.07
測定装置	固定型 MP	固定型 MP	固定型 MP	固定型 MP	固定型 MP	固定型 MP	固定型 MP
福島第一原発からの方向及び距離	北西 約63km	西 約58km	西南西 約81km	西 約98km	西南西 約115km	北 約24km	南南西 約43km

※測定地点は、福島市は県北保健福祉事務所南側広場、郡山市は郡山合同庁舎東側駐車場、その他の市町は各合同庁舎の駐車場です。  
※平常値は、県内の平成21年度放射線レベル調査結果です。

お知らせ

○外国出身者のための生活相談窓口のご案内

当協会では、外国出身の方々のために外国語で生活相談に応じています。

- 英語・中国語・日本語 毎週火曜日～土曜日 9:00～17:00
- 韓国語・タガログ語・ポルトガル語 木曜日 10:00～14:00  
※第4・5木曜日は事前予約が必要です。

電話：024-524-1316(専用) E-mail: ask@worldvillage.org (専用)

発行者

(公財) 福島県国際交流協会

〒960-8103 福島県福島市舟場町 2-1

☎024-524-1315 FAX 024-521-8308

E-mail info@worldvillage.org

URL <http://www.worldvillage.org>